

オーナー様 地震体験レポート

～初めての震度6弱の地震を経験して～



T様 高知県宿毛市

建築年月 2014年8月
家族構成 夫婦2人 子供2人
延床面積 115.49㎡(34.93坪)
太陽光 5.40kW 搭載

自分が留守にしている時、家族を守ってくれる住まい

仕事柄、家を留守にすることが多いT様。
もし家族と離れている時に地震が起きても大丈夫なようにと耐震性を重視してセキスイハイムで建築。2人のお子様と奥様、ご主人様の4人家族。

豊後水道地震

2024年4月17日 23時14分ごろ M6.6 震度6弱

Q.地震が起きた際どのように感じましたか？

仕事の関係で家を空けることが多く、今回の地震が起きた時も、自宅ではなく、高知市にいました。ついに南海大地震が来たのかと感じ、家族の安否を確認しようとすぐ妻に連絡したところ、家の被害はほとんどなかったので一安心でしたが、エリア的に地震の後の津波が来るかもしれないと怖い思いでした。

Q.地震が起きた後ご自宅の状況はどうでしたか？

食器棚から食器が落ちて割れ、床には傷がつかれました。他にも玄関の大きな鉢植えが倒れて割れたり、飾っていた写真立てが落ちたりしましたね。壁紙のクロスに亀裂が入ったり、子ども部屋の本棚が倒れたりもしました。たまたま家族の誰も怪我をしなかった点はその点は良かったです。事前に地震の事を考えて家具の固定や、あらかじめ備付けの本棚にしておけばよかったと感じました。



↑ 食器による床の傷

↑ 壁紙の亀裂

Q.地震後のセキスイハイムの対応はどうでしたか？

地震のあった翌日にはハイムの営業の方から状況確認のお電話をいただき、とても安心しました。壁紙の亀裂についてなんかをお伝えさせてもらったのですが、それから数日で修繕担当の方が自宅まで確認に来てくれて、アフターフォローもしっかりしていて安心しました。

Q.地震が起きた後で生活の変化はありましたか？

今回の地震を経験するまで、我が家は太陽光発電があるので、停電しても電気は大丈夫と思っていました。今回、深夜に地震が起きた事で、今この瞬間に電気が使えなくなるのは非常に危険だと感じました。今後の事を考えると蓄電池もあった方がいいと思うようになりましたね。

Q.ご近所の方や周辺の様子はどうでしたか？

私の両親や弟の家も近くにいます。幸い被害は少なかったのですが、今後、大きな地震があったり、災害があったりした際は、自分の家に避難してきて貰うように伝えてあります。

また、ライフラインはすぐに復旧していましたが、もし水道管の破裂や停電が起こっていたらと思うとゾッとしますね。そういった点でも太陽光や蓄電池は必須だと思います。

他にも、近所では屋根瓦が落ちたままの家も残っています。その様子を見ると、我が家の屋根はステンレスで、屋根瓦が落ちるといった心配もなくて良かったと思います。

今回の地震を経験して伝えたい事

今回の地震で想像もできないような事が現実に起きるという事を実感しました。家族の事を考え、我が家はセキスイハイムで建てたので、まず崩れないだろうという安心感がありました。それだけでなく、その後も支障なく生活ができる家づくりをしていて、セキスイハイムで本当によかったと思います。家を検討する際は、まず家族の安心を第一に考えて、住まいづくりを進めると、いざという時も安心できると思います。

セキスイハイムスタッフが体験したこと。感じたこと。



セキスイハイム東四国 N社員（高知県宿毛市在住）

今回の地震を通して改めて感じた、在来の木造住宅とセキスイハイムの違い、地震に対する備えの重要性

豊後水道 地震

2024年4月17日 23時14分ごろ M6.6 震度6弱

Q.地震が起きた際どのように感じましたか？

今まで経験したことがない大きな揺れを感じて、かなり不安を感じました。寝ていた家族全員がすぐに起きて、慌てて外に飛び出しました。余震で家が倒壊するのが怖く、1時間近く家の中に戻ることができませんでした。その間は家族と外で待機していました。これが真冬だったらと考えると、家族全員寒さに耐えられたかどうか.....ゾッとしますね。

私が住んでいる家は築30年以上の木造住宅なのですが、本当にいつ崩れるか気が気でなかったです。

もしセキスイハイムの住まいであれば崩れる心配もなく、安心・安全を感じられたのではないかなと思います。

Q.地震が起きた後で生活の変化はありましたか？

自宅前を大型車が通ると少し揺れるのですが、母がその揺れで不安になり外に出ようとするようになり、精神的な影響がありました。また、地震の翌日は普段見かけない自衛隊のヘリコプターも飛んでいて非日常の恐怖を感じました。他にも、水や非常食なんかの備えを意識するようになりましたね。非常用の電源なんかも確保しておかないといけないと感じました。幸いライフラインに被害が出る事はあまりありませんでしたが、もし長期の停電が起きていたら、どうしたらいいかわからなかったと思います。普段お客様には、災害が起こった時の為に、太陽光発電や蓄電池をご提案していますが、本当に間違っていないかったと実感します。

Q.ご近所の方や周辺の方の様子はどうでしたか？

今回の地震の後、セキスイハイムのオーナー様へ被害の有無を確認するお電話をしていると、皆さまのホッとしたような様子がうかがえました。「すぐに連絡がきて安心しました」「そちらは大丈夫でしたか？」などといった言葉をかけていただき、こちらの方が元気をもらう事もありました。

オーナー様の住まいでは幸い大きな被害もなかったようで、セキスイハイムの家の強さをあらためて感じました。今回の地震を通して、「災害に強い住宅づくり」が本当に大事な事なんだと実感しました。

今回の地震を経験して伝えたい事

今回の地震では、自分たちの備えに後悔をしている部分もあります。今回の地震ではたまたま大きな被害も出ず大丈夫でしたが、もし家が倒壊していたとしたら、その後の暮らしはとて大変な事になっていたと思います。自分の家では暮らすことができず、避難所での生活を余儀なくされると考えると、とても大変な毎日を過ごさなければなりません。そんな被害を少しでも減らすためにも、一棟でも多くのセキスイハイムの住まいをご提供していかなければならないと実感しました。

また、今回の地震を通してオーナー様との繋がりを強く感じました。人との絆を大切に、今後も地域に貢献していきたいと思います。